

# スイートコーン\*1

(穀類、トウモロコシ、未成熟トウモロコシの登録農薬を使用できる。トウモロコシ(子実)、飼料用トウモロコシの登録農薬は使用不可)

薬剤名	系統区分	作用機構分類コード	人畜毒性	使用時期(日数)	使用回数	苗木枯病	ピシウム・リゾクトニアによる病害	フザリウムによる病害	紋枯病	すす紋病	褐色腐敗病
チルト乳25	DM I	3		7	2					ト	
トリフミン水	DM I	3		7	3					◎	
バリダシン液5	抗生物質	U18		7	3				◎		
ベンレート水	ベンゾイミダゾール	1		*b	1			ト			
キヒゲンR-2FL	有機硫黄	M3		*a	1	ト					
リゾレックス水	有機リン	14		14	2				◎		
オーソサイド水80	他	M4		*b	1		◎				
スターナ水	他	31		1	3						◎
シグナムWDG	QoI・アミド	11・7		7	2					◎	
ベンレートT水20	有機硫黄・ベンゾイミダゾール	M3・1		*a	1	ト					

\*1:スイートコーン…未成熟トウモロコシ

\*a:播種前 \*b:播種前(種子処理機による種子粉衣)

ト:「トウモロコシ」での登録

スイートコーン

# スイートコーン\*1

(穀類、トウモロコシ、未成熟トウモロコシの登録農薬を使用できる。トウモロコシ(子実)、飼料用トウモロコシの登録農薬は使用不可)

薬剤名	系統区分	作用機 構分 類 コ ー ド	人 畜 毒 性	使 用 時 期 (日 数)	使 用 回 数	ア ブ ラ ム シ 類	カ メ ム シ 類	ア ワ ノ メ イ ガ	ツ マ ジ ロ ク サ ヨ ト ウ	ハ ス モ ン ヨ ト ウ	ヨ ト ウ ム シ	ア ワ ヨ ト ウ	ダ イ メ イ チ ュ ウ	オ オ タ バ コ ガ	ネ キ リ ム シ 類	ハ ダ ニ 類	☆ カ ラ ス 等
エスマルクDF	B T	11A	*b	-	-			雑									
サブリナFL	B T	11A	*b	-	-			雑									
ジャックポット顆水	B T	11A	*b	-	-				ト								
ゼンターリ顆水	B T	11A	*b	-	-									ト			
チューレックス顆水	B T	11A	*b	-	-				ト								
デルフィン顆水	B T	11A	*b	-	-				ト					ト			
カスケード乳	I G R	15		7	2			◎◎						◎			
マトリックFL	I G R	18		1	3			◎									
デナボン粒5	カーバート	1A		21	2			◎					◎				
フェニックス顆水	ジアミト*	28		1	2			ト	ト					ト			
プレバゾンFL5	ジアミト*	28		1	3			ト	ト					ト			
ベネビアOD	ジアミト*	28		1	3	ム		◎◎	◎◎					◎			
ヨーバルFL	ジアミト*	28		1	3			◎◎	◎◎					◎			
ディアナSC	スピノジ	5		1	2			◎						◎			
アクタラ顆溶	ネコチノイト*	4A		7	2		◎										
アルバリン顆溶	ネコチノイト*	4A		1	3	◎	◎										
スタークル顆溶	ネコチノイト*	4A		3	3	◎	◎	ア	◎								
ダントツ溶	ネコチノイト*	4A		1	3	◎	◎										
モスビラン顆溶	ネコチノイト*	4A	劇	1	3	◎	◎										
パダNSG溶	ネイストキシ	14	劇	21	2			ト	ト								
パダN粒4	ネイストキシ	14	劇	7	2			ト									
アグロスリン乳	ビレスロイト*	3A	劇	7	3	ト	ト	ト				ト					
アディオソ乳	ビレスロイト*	3A		14	4	ト	ト										
ガードベイトA粒	ビレスロイト*	3A		*c	4										ト		
トレボン乳	ビレスロイト*	3A		7	4			ト				ト					
プリンスFL	フェルビラゾール	2B	劇	14	2			◎						◎			
アニキ乳剤	マクロイト*	6		1	3				◎◎					◎			
アフアーム乳	マクロイト*	6		3	2				◎	◎				◎			
キヒゲンR-2FL	有機硫黄			*a	1												ト
オルトラン水	有機リン	1B		7	2	◎											
スミチオン乳	有機リン	1B		7	4		ト	ト	ト								
ダイアジノン粒5	有機リン	1B		14	2			◎									
エクセルFL	他	22B		*e	1										◎		
ウララDF	他	29		3	2	◎			ト	ト							
コテツFL	他	13	劇	1	2									ト		ト	
コルト顆水	他	9B		1	3	◎											
プレオFL	他	UN		1	2									◎			
パーマチオン水	ビレスロイト*・有機リン	3A・1B	劇	7	4	ト	ト	ト	ト								

\*1:スイートコーン…未成熟トウモロコシ

☆:カラス等…カラス、キジ、ハト、スズメ、ムクドリ、キジバト

\*a:播種前 \*b:発生初期(但し収穫前日まで) \*c:生育初期

\*d:雄穂抽出期～雌穂抽出期(但し収穫21日前まで) \*e:出芽時

ア:アカスジカスミカメ ト:「トウモロコシ」での登録

ム:ムギクビレアブラムシ 雑:「雑穀類」での登録

スイートコーン

# ヤングコーン\*1

(スイートコーンの収穫前に欠いた雌穂をヤングコーンとして出荷する場合には、ヤングコーンの収穫終了までは『スイートコーンとヤングコーンの両方に使用可能な農薬』しか使用できないので注意する。)

薬剤名	系統区分	作用機 構分類 コード	人畜 毒害 性	使用 時期 (日数)	使用 回数	フザリウムによる病害	ビシウム・リゾクトニアによる病害	アフリウム・リゾクトニアによる病害	アブラムシ	アワノメイガ	ツマジロクサヨトウ	ヨトウム	オオタバコガ	ネキリムシ	ハダニ
ベンレート水	ベンゾイミダゾール	1		*a	1	野									
オーソサイド水80	他	M4		*a	1	野									
ベンレートT水20	有機硫黄・ベンゾイミダゾール	M3・1		*a	1		野								
エスマルクDF	B T	11A		*b	-						野	野			
サブリーナFL	B T	11A		*b	-						野	野			
ゼンターリ顆水	B T	11A		*b	-						野	野			
デルフィン顆水	B T	11A		*b	-							野			
フェニックス顆水	ジアミド	28		1	2					◎	◎		◎		
モスピラン顆溶	ネオニコチノイド	4A	劇	1	2				◎						
ガードベイトA粒	ピレスロイド	3A		*c	4									◎	
アニキ乳	マクロライド	6		1	3								◎		
アフーム乳	マクロライド	6		1	2						◎	◎			
ダイアジノン粒	有機リン	1B		*d	1									◎	
コテツFL	他	13	劇	1	2								◎		◎

\*1:ヤングコーンに使用可能な農薬のうち、スイートコーンにも使用可能な農薬を示した。野菜類の他の適用病害虫については「野菜類」の項を参照のこと。

\*a: 播種前 \*b: 発生初期(但し収穫前日まで) \*c: 生育初期(但し収穫14日前まで)

\*d: 出芽時

野: 野菜類での登録

※殺菌剤の処理方法: 種子処理機による種子紛衣

ヤングコーン

# スイートコーン\*1

(穀類、トウモロコシ、未成熟トウモロコシの登録農薬を使用できる。トウモロコシ(子実)、飼料用トウモロコシの登録農薬は使用不可)

主要病害虫発生消長	1月	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
病 露地 マルチ					—	—	—	—				
害 すず紋病							—	—				
虫 アワノメイガ							—	—	—			
害 アブラムシ類							—	—	—			
害 アワヨトウ							—	—	—			

作 型 — ; 栽培期 — ; 収穫期  
 病害虫発生消長 — ; 発生期 — ; 発生盛期

病害虫名	防除時期	防除方法	参考事項
すじ萎縮病	播種期	・早まき栽培、麦間栽培を行わない。	イネ黒条萎縮病と同じ病原ウイルスによっておこる。ヒメトビウシカが媒介する。
苗立枯病	播種前	1. 圃場の排水に留意し、密植をさける。 2. 次の薬剤を処理する。 ベンレートT水和剤20* 乾燥種子重量の0.5%粉衣 3. 次の薬剤を塗末処理する。 キヒゲンR-2フロアブル* 原液20ml/乾燥種子重量1kg	*トウモロコシで登録
さび病	播種期 発生時	・感受性の高い品種はさける。 ・まん延が早いので、発病株は胞子が飛散しないうちに、発生場所でただちに処分する。ビニールに包み、太陽熱処理をすると有効。	パートナーズスイートなどは感受性が高い。
すず紋病	生育期 収穫後	・発病初期に次の薬剤を散布する。 トリフミン水和剤 2000~4000倍 ・罹病残渣を圃場にすき込まない。	キャンベラ90などは感受性が高い。 梅雨期及び秋季に気温18℃~20℃で降雨が続くとき多発しやすい。
アワノメイガ	生育期	・第2化期幼虫のふ化最盛期(7月下旬~8月上旬)に2回、次の薬剤のいずれかを散布する。 デナポン粒剤5△ 4~6kg/10a プリンスフロアブル 2000倍	△デナポン粒剤は株の上から葉身・葉鞘に均一にかかるように散粒する。
ヨトウムシ	生育期	・発生を見たら次の薬剤を散布する。 アフファーム乳剤 1000~2000倍	

スイートコーン

## スイートコーン\*1

(穀類、トウモロコシ、未成熟トウモロコシの登録農薬を使用できる。トウモロコシ(子実)、飼料用トウモロコシの登録農薬は使用不可)

病害虫名	防除時期	防除方法	参考事項
アワヨトウ	生育期	<ul style="list-style-type: none"> <li>発生を見たら次の薬剤のいずれかを散布する。</li> <li>アグロスリン乳剤* 1000倍</li> <li>トレボン乳剤* 1000倍</li> </ul>	<p>食葉被害株の中央の筒状部内に黒褐色の虫糞が詰まっており、その虫糞を取り除くと黄褐色のヨトウムシが見つかるので圃場での発生を確認する。</p> <p>被害が生じる時期は出穂前で、出穂後の被害は少ない。</p> <p>突発的に多発することがある。</p> <p>*トウモロコシでの登録</p>
オオタバコガ	生育期	<ol style="list-style-type: none"> <li>虫糞に注意し、幼虫を見つけたら捕殺する。</li> <li>発生をみたら次の薬剤を散布する。</li> </ol> <p>アフーム乳剤 1000～2000倍</p>	
その他の病害虫		倒伏細菌病	

\*1:スイートコーン…未成熟トウモロコシ